

【注意】

「5-2. 研究計画」を除き、様式の変更・追加は不可とします。

様式第1-1

博士課程教育リーディングプログラム編入希望調書

編入 希望者	氏名	ふりがな		
	学籍番号	社会人編入者は「該当なし」と記入	学 年	同様に「該当なし」
	所属研究科・専攻	同様に「該当なし」		
	編入を希望するプログラム名称			
指導 教員	氏名	ふりがな		
		社会人編入者は「該当なし」と記入		
	所属研究科・専攻	同様に「該当なし」と記入		
1. 略歴				
年 月 △△大学□□学部入学				
年 月 △△大学□□学部卒業				
年 月 △△大学大学院□□学研究科（修士課程あるいは博士前期課程）入学				
年 月 △△大学大学院□□学研究科（修士課程あるいは博士前期課程）修了				
年 月 ○○社入社				
年 月 ○○社退職				
年 月 △△大学大学院□□学研究科（博士課程あるいは博士後期課程）入学予定				
2. 編入を希望するプログラムの履修に相当する職業経験又は学修経験の概要				
① 年 月～ 月 ○○社においてプロジェクトメンバーとして◎◎◎◎の開発に参加。プロジェクトでは、××××及び◇◇◇◇を担当した。				
② 年 月～ 月 △△大学大学院□□学研究科▽▽▽専攻において、別紙②の科目を修めた。				
③ 年 月～ 月 △△大学大学院□□学研究科▽▽▽専攻において◎◎◎◎をテーマとするPBLに参加。××××及び◇◇◇◇を担当した。（別紙③）				
※必要に応じて編入を希望するプログラムの履修に相当する職業経験又は学修経験を有していることを示す資料（編入前の学修成果に関する資料 等）を添付してください。				

3. 目指すリーダー像

PWS プログラムでは、①国連やユニセフや WWF などの国際的な生物多様性保全組織、②動物園・水族館・博物館などのキュレーター、③一国の生物保全に貢献、の 3 つの出口に向けた教育を推進しています。申請者自身が目指す出口（リーダー像）について記述してください。

4. 学修計画

PWS プログラムでは、国内外での実習や研修をはじめとする多様なカリキュラムを用意しています。PWS 履修生として得られる知識や経験を活かした、申請者自身の学修計画について記述してください。

5 - 1. 研究テーマ

5 - 2. 研究計画

L3 (D1) で編入後、学位を取るための研究計画について記述してください。研究計画では、以下の 2 点にも言及してください。

- ・ 2014 年 4 月から予定される所属における研究指導者名（複数記入可）
- ・ PWS 履修生として認められた場合に研究指導を希望する PWS 分担者名（複数記入可）

※欄が不足する場合は適宜追加してください

(編入希望者氏名 :)